



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 里見 多一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大塚 道春 (TEL) 03-3278-4333
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,255	△3.5	2,856	△31.0	4,156	△15.7	2,493	△17.4
2022年3月期第1四半期	28,255	35.9	4,141	245.2	4,932	217.3	3,017	321.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,919百万円(5.9%) 2022年3月期第1四半期 5,591百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.39	—
2022年3月期第1四半期	25.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	226,524	189,032	70.7	1,379.88
2022年3月期	228,982	187,673	70.0	1,366.47

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 160,151百万円 2022年3月期 160,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	27.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.9	15,000	12.2	18,000	5.9	10,000	10.5	86.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	132,604,524株	2022年3月期	132,604,524株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	16,542,886株	2022年3月期	15,299,826株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	116,566,133株	2022年3月期1Q	117,622,609株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(会計方針の変更)	9
	(セグメント情報等)	10
3.	補足情報	11
	(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	11
	(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国で新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた持ち直しの動きが見られましたが、世界的な資源・エネルギー価格の高騰、コンテナ不足に伴う物流の混乱、ゼロコロナ政策に伴う中国経済の減速など懸念材料も多く、依然として先行きは不透明な状況となっております。わが国経済におきましても、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、原材料価格の上昇や部品供給制約の影響により、企業収益や生産において一部で弱さがみられるなど、景気の先行きが見通しにくい状況が続いております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、新型コロナウイルス感染拡大等に伴う部品供給不足による生産調整の影響が継続しており、国内では自動車生産台数が前年を下回る水準で推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においても、自動車の減産による鋼材需要の低下や中国の粗鋼減産政策の影響により、国内および世界の粗鋼生産量は前年を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、今年度より第4次中期経営計画をスタートさせました。2028年の創業100周年に向けて、新たな成長を実現するための重要な期間と位置づけ、全事業セグメントにおいて、既存事業の深耕、新規分野の開拓、グローバル事業の拡大に加えて、環境問題などの社会課題解決に積極的に取り組むなど、長期的な視点で企業価値の向上に取り組んでおります。また、お客様から信頼をいただける製品・サービスを提供するために、グループ全体の品質管理と品質保証の強化にも努めております。

この結果、当第1四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期累計期間 (2023年3月期)	27,255	2,856	4,156	2,493
前第1四半期累計期間 (2022年3月期)	28,255	4,141	4,932	3,017
増減金額	△999	△1,284	△776	△524
増減率	△3.5%	△31.0%	△15.7%	△17.4%

売上高は272億55百万円（前年同期比3.5%減）となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が6.4%の増収、装置事業が32.0%、加工事業が3.3%の減収、その他が7.5%の増収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が7.1%の減収、アジアが2.0%の増収、欧米が1.8%の減収で推移しております。

営業利益は28億56百万円（前年同期比31.0%減）、**経常利益**は41億56百万円（前年同期比15.7%減）、**親会社株主に帰属する四半期純利益**は24億93百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の**総資産経常利益率**（ROA）は年換算7.2%と前期末に比べ0.4ポイント減少いたしました。また、**自己資本利益率**（ROE）は年換算6.4%と前期末に比べ0.6ポイント増加いたしました。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で7億88百万円程度の増収、営業利益で67百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第1四半期累計	当第1四半期累計	増減額	増減率	前第1四半期累計	当第1四半期累計	増減額	増減率
薬品事業	11,617	12,355	738	6.4%	2,270	1,804	△466	△20.5%
装置事業	4,416	3,002	△1,413	△32.0%	141	△194	△336	△237.6%
加工事業	11,485	11,106	△378	△3.3%	2,095	1,598	△496	△23.7%
その他	735	790	54	7.5%	19	17	△1	△10.0%
調整額(消去)	—	—	—	—	△385	△369	16	4.2%
連結損益計算書計上額	28,255	27,255	△999	△3.5%	4,141	2,856	△1,284	△31.0%

①薬品事業

売上高は123億55百万円(前年同期比6.4%増)となり、**営業利益**は18億4百万円(前年同期比20.5%減)となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなう最新のノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では前期後半から続く主要顧客の減産等の影響により金属表面処理剤の販売は伸び悩みましたが、インド、韓国、インドネシアなどアジア地域での販売回復が寄与し、薬品事業全体では売上高は増収となりました。一方で原材料価格の高騰や国内販売数量の減少により収益性は低下し、営業利益は減益となりました。

②装置事業

売上高は30億2百万円(前年同期比32.0%減)となり、**営業損失**は1億94百万円(前年同期は1億41百万円の営業利益)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。前年同期は国内外で大型設備案件の施工が進捗し業績に寄与しましたが、今期はその効果が減少したことに加え、鋼材価格の高騰や工期の後ろ倒しなどの要因もあり、収益面では大幅な減収となり、利益面では営業利益から営業損失へと転換しました。

③加工事業

売上高は111億6百万円(前年同期比3.3%減)となり、**営業利益**は15億98百万円(前年同期比23.7%減)となりました。当事業部門は、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。タイ・ベトナム・中国などアジア地域では比較的堅調に推移したものの、国内では主要取引先である自動車部品メーカーの生産低調に伴い販売が伸び悩んだことに加えて光熱費の上昇により収益性が低下し、加工事業全体では減収減益となりました。

④その他

売上高は7億90百万円(前年同期比7.5%増)となり、**営業利益**は17百万円(前年同期比10.0%減)となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業の販売は順調に推移したものの、外注コストの上昇により収益性が低下したため増収減益となりました。また、ライフサイエンス事業として、一般消費者向け抗菌剤「Pal-feel」の製造販売のほか、血液や生体組織の付着を低減した電気メス部品「CHIDORI」などの製造販売を通じて、医療機器分野への参入も進めております。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間
減価償却費	1,460	1,422
設備投資額	1,085	1,147
研究開発費	553	476
有利子負債	1,532	1,624

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し24億58百万円減少し2,265億24百万円となりました。流動資産は21億20百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が28億81百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が17億7百万円それぞれ減少し、棚卸資産が12億1百万円増加いたしました。固定資産は3億37百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産が12億31百万円増加した一方で、投資その他の資産が17億17百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し38億18百万円減少し374億91百万円となりました。流動負債は32億14百万円、固定負債は6億3百万円それぞれ減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が13億84百万円、未払法人税等が8億68百万円それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し13億59百万円増加し1,890億32百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が12億58百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が29億52百万円増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は70.7%と前連結会計年度末と比較し0.7ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は1,379円88銭と13円41銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、概ね計画の範囲内で推移しているものと判断し、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

【通期連結業績(2023年3月期)の見通し】

(単位：百万円)

	2023年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第1四半期)
売上高	120,000	1.9%	22.7%
営業利益	15,000	12.2%	19.0%
経常利益	18,000	5.9%	23.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,000	10.5%	24.9%

(通期予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。なお、この業績予想は直近までの平均レートを参考に作成しております。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,459	72,578
受取手形、売掛金及び契約資産	39,027	37,319
有価証券	361	448
商品及び製品	3,304	3,877
仕掛品	479	495
原材料及び貯蔵品	6,263	6,875
その他	2,947	4,295
貸倒引当金	△1,583	△1,752
流動資産合計	126,258	124,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,642	23,481
機械装置及び運搬具（純額）	15,164	15,319
土地	16,485	16,603
建設仮勘定	2,181	2,280
その他（純額）	1,548	1,569
有形固定資産合計	58,022	59,254
無形固定資産	2,488	2,636
投資その他の資産		
投資有価証券	29,305	27,080
退職給付に係る資産	56	53
繰延税金資産	1,741	1,704
その他	11,237	11,785
貸倒引当金	△127	△128
投資その他の資産合計	42,212	40,495
固定資産合計	102,724	102,386
資産合計	228,982	226,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,200	15,815
1年内返済予定の長期借入金	565	579
未払法人税等	2,432	1,563
賞与引当金	2,416	1,740
役員賞与引当金	70	15
その他	8,913	8,670
流動負債合計	31,599	28,385
固定負債		
長期借入金	745	689
退職給付に係る負債	4,124	4,171
役員退職慰労引当金	246	261
繰延税金負債	3,043	2,513
その他	1,549	1,469
固定負債合計	9,709	9,105
負債合計	41,309	37,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,438	4,438
利益剰余金	150,543	149,857
自己株式	△11,805	△12,916
株主資本合計	147,736	145,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,750	7,491
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	2,429	5,382
退職給付に係る調整累計額	1,373	1,336
その他の包括利益累計額合計	12,557	14,212
非支配株主持分	27,379	28,881
純資産合計	187,673	189,032
負債純資産合計	228,982	226,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	28,255	27,255
売上原価	17,945	18,084
売上総利益	10,309	9,171
販売費及び一般管理費	6,168	6,314
営業利益	4,141	2,856
営業外収益		
受取利息	65	60
受取配当金	242	288
受取賃貸料	202	198
持分法による投資利益	199	138
為替差益	153	654
その他	92	101
営業外収益合計	955	1,443
営業外費用		
支払利息	37	10
賃貸費用	97	83
その他	30	50
営業外費用合計	164	144
経常利益	4,932	4,156
特別利益		
固定資産売却益	5	37
投資有価証券売却益	—	86
特別利益合計	5	123
特別損失		
固定資産除売却損	8	13
その他	0	0
特別損失合計	8	13
税金等調整前四半期純利益	4,928	4,266
法人税等	1,250	1,207
四半期純利益	3,677	3,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	659	565
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,017	2,493

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,677	3,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△927	△1,286
為替換算調整勘定	2,484	3,748
退職給付に係る調整額	△10	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	366	435
その他の包括利益合計	1,913	2,860
四半期包括利益	5,591	5,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,334	4,151
非支配株主に係る四半期包括利益	1,257	1,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用する米国の連結子会社において、ASU第2016-02号「リース」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これにより、リースの借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することが求められており、適用にあたっては経過的な取扱いに従って、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。なお、会計方針の変更による影響が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	11,617	4,416	11,485	27,519	735	28,255	—	28,255
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	376	99	8	483	59	543	△543	—
計	11,994	4,515	11,493	28,003	795	28,798	△543	28,255
セグメント利益又は 損失(△)	2,270	141	2,095	4,507	19	4,527	△385	4,141

- (注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを
含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△385百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグ
メントに配分していない全社費用△412百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに
帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	12,355	3,002	11,106	26,465	790	27,255	—	27,255
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	354	56	7	419	6	425	△425	—
計	12,710	3,058	11,114	26,884	796	27,681	△425	27,255
セグメント利益又は 損失(△)	1,804	△194	1,598	3,208	17	3,226	△369	2,856

- (注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを
含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△369百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグ
メントに配分していない全社費用△406百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに
帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

2023年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2022年4月～6月	第2四半期 2022年7月～9月	第3四半期 2022年10月～12月	第4四半期 2023年1月～3月	通算 2022年4月～2023年3月
売上高	27,255				27,255
売上総利益	9,171				9,171
営業利益	2,856				2,856
経常利益	4,156				4,156
税金等調整前当期純利益	4,266				4,266
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,493				2,493
総資産	226,524				—
純資産	189,032				—

2022年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2021年4月～6月	第2四半期 2021年7月～9月	第3四半期 2021年10月～12月	第4四半期 2022年1月～3月	通算 2021年4月～2022年3月
売上高	28,255	29,682	30,432	29,381	117,752
売上総利益	10,309	10,046	9,511	8,550	38,418
営業利益	4,141	3,774	3,158	2,295	13,370
経常利益	4,932	4,542	3,831	3,696	17,003
税金等調整前当期純利益	4,928	4,510	2,651	3,754	15,845
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,017	2,701	1,124	2,203	9,046
総資産	221,987	226,766	225,349	228,982	—
純資産	180,439	184,872	184,088	187,673	—

2021年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2020年4月～6月	第2四半期 2020年7月～9月	第3四半期 2020年10月～12月	第4四半期 2021年1月～3月	通算 2020年4月～2021年3月
売上高	20,793	23,524	25,376	30,223	99,918
売上総利益	7,138	7,234	9,830	10,383	34,586
営業利益	1,199	1,764	3,884	3,832	10,681
経常利益	1,554	2,893	4,420	5,328	14,197
税金等調整前当期純利益	1,537	3,609	4,456	6,857	16,462
親会社株主に帰属する 当期純利益	716	2,221	2,916	4,144	9,999
総資産	211,080	214,504	215,409	220,210	—
純資産	168,226	171,688	172,177	176,667	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	7,090	7,153	62	0.9%	1,239	698	△ 541	△43.7%
	アジア	4,241	4,956	715	16.9%	823	790	△ 33	△4.0%
	欧米	285	246	△ 39	△13.8%	79	72	△ 6	△8.6%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	376	354	△ 21	△5.7%	128	243	115	89.9%
	計	11,994	12,710	716	6.0%	2,270	1,804	△ 466	△20.5%
装置 事業	日本	1,767	1,138	△ 628	△35.6%	△ 57	△ 195	△ 137	△238.7%
	アジア	2,461	1,739	△ 721	△29.3%	213	1	△ 212	△99.1%
	欧米	187	124	△ 63	△33.8%	△ 5	△ 45	△ 40	△799.2%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	99	56	△ 42	△43.1%	△ 9	44	53	570.8%
	計	4,515	3,058	△ 1,456	△32.3%	141	△ 194	△ 336	△237.6%
加工 事業	日本	6,776	6,132	△ 643	△9.5%	1,514	1,015	△ 498	△32.9%
	アジア	2,941	3,143	201	6.9%	620	652	31	5.1%
	欧米	1,767	1,830	63	3.6%	△ 55	△ 70	△ 15	△27.4%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	7	△ 0	△5.7%	15	0	△ 14	△93.7%
	計	11,493	11,114	△ 378	△3.3%	2,095	1,598	△ 496	△23.7%
報告セグメント計		28,003	26,884	△ 1,118	△4.0%	4,507	3,208	△ 1,298	△28.8%
その 他	日本	735	790	54	7.5%	19	17	△ 1	△10.1%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	59	6	△ 53	△89.8%	0	0	—	—
	計	795	796	1	0.2%	19	17	△ 1	△10.0%
合計		28,798	27,681	△ 1,117	△3.9%	4,527	3,226	△ 1,300	△28.7%
調整額		△ 543	△ 425	117	21.7%	△ 385	△ 369	16	4.2%
連結損益計算書計上額		28,255	27,255	△ 999	△3.5%	4,141	2,856	△ 1,284	△31.0%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	18,090	16,273	△ 1,816	△10.0%	2,722	1,578	△ 1,143	△42.0%
アジア	9,669	9,884	214	2.2%	1,675	1,442	△ 232	△13.9%
欧米	2,243	2,204	△ 39	△1.7%	20	△ 55	△ 76	△365.0%
合計	30,003	28,362	△ 1,641	△5.5%	4,418	2,965	△ 1,453	△32.9%
調整額	△ 1,748	△ 1,106	641	36.7%	△ 277	△ 108	168	60.7%
連結損益計算書計上額	28,255	27,255	△ 999	△3.5%	4,141	2,856	△ 1,284	△31.0%